



管理者向け、という イメージは時代遅れ？！



内定者や新入社員向けのコンテンツも充実

「インバスケッ」と聞くと、「管理職試験で使われるアレだよね」とお思いの方も多いのではないでしょうか。確かに、1970年代に日本にもたらされてからは、管理職の登用試験に使われることしかありませんでした。

そこで当社では、「インバスケッ思考」＝「限られた時間で成果を出す思考法」として、研究をはじめました。成果を出すには、実はどのようなプロセスを辿ったか、が重要になってきます。反対に言えば、プロセスに焦点を当てることで成果が変わってくるのです。それは、管理職に限ったことではないはずで

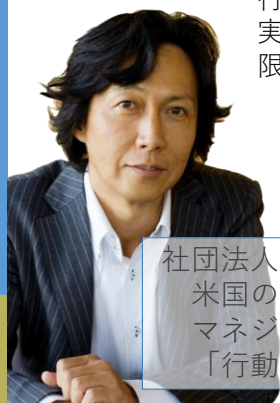
現在、当社では「新入社員向け」「大学生向け」など若年層の教材開発にも力を入れています。大学生には「楽しみながら自己分析すること」を、新入社員には「これから必要になる基礎知識を体験して習得すること」を、教材を通じて提供しています。また、現在開発中のコンテンツとしては、若手向けに「合意形成を図ること」を目的としたものや、「素質を測る」採用試験としての教材を抱えています。

今後ますます需要が増えるインバスケッ。これからも最新の情報をご提供してまいります。

展示会直前！特別ゲストのご紹介

今年は日本における**行動科学マネジメントの第一人者**の石田淳氏にご講演をお願いしました。

行動科学マネジメントとは、個人の経験から得られた属人的なノウハウではなく、実験と調査の積み重ねから導き出された科学的なノウハウであり、行動を可能な限り細分化し、その行動を習慣に変えていく。それこそが行動科学の魅力です。



《インバケット展示会2019》
2019年10月11日（金）10：30よりタイム24ビル（13階にて）
詳細・お申込みはこちら

社団法人行動科学マネジメント研究所 所長 石田 淳氏
米国のビジネス界で大きな成果を上げる行動分析を基にした
マネジメント手法を日本人に適したものに独自の手法でアレンジ。
「行動科学マネジメント」として確立。



インバケットの魅力とは？

私が思うインバケットの魅力は
「**行動を数値化するところ**」。

よくインターネットなどで見かける自己分析ツールや、性格特性を測るツールなどは質問形式になっており、自分の考えに近いものを選択していく形式だと思えます。

しかし、インバケットは、本当にその人がとった行動をそのまま数値化するので、より実践的で、より個人の特性に沿ったスコアを出せるところに魅力を感じています。

今後は、まだ見つけられていないコンピテンシー（成果の上がる人に共通する行動特性）を見つけたり、メールを打つだけで、発揮されていない能力を測定し、指摘できるような仕組みを研究したいと考えています。

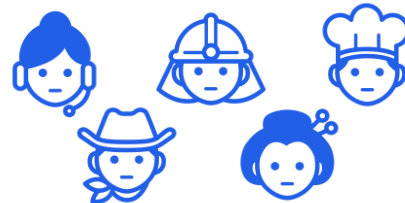
▶インタビューに
答えてくれたのはこの人！

インバケット研究所
開発グループ
波戸 秀太さん（2018年入社）



インバケット Quiz!

当社スタッフは様々な業界出身者がいるのですが、とある業界からは一人もいません。
下記の内、どの業界でしょう？



- 1.医療業界
- 2.金融業界
- 3.小売業界
- 4.研修業界
- 5.旅行業界

SNSも更新中！
フォロー&いいね
宜しくお願いします！



INBAS
インバケット研究所



@inbasket_Lab



@inbasket

発行元：株式会社インバケット研究所
カスタマーサポートグループ
メール：houjin@inbasket.co.jp



データ版はこちらから